

会 議 録

会議名称	令和元年度 第5回社会教育委員会議	
開催日時	令和2年2月25日(火)	18時30分から 21時00分まで
開催場所	女満別研修会館第2会議室	
出席者の氏名	委員出席者氏名(敬称略) 本間 文子 大井 徹也 原本 光枝 斉藤 昌志 豊島 孝一 河西 美香 関谷 正樹 葉茸 清敏 野村 俊夫 長谷川 純子 矢浪 竜也 (欠席:中村 章二 石原 和将 河崎 琢哉 中村 貴子 竹内 大輔) 教育委員会 田端参事 砂金主幹 歌丸主幹 南部主査 佐藤主事 松本主事 横山主事 中村主事捕	
傍聴者の数	なし	
会議資料の名称	○大空町社会教育中期計画各項目 ○令和元年度社会教育推進計画	
審議内容及び結果	1 開会 2 議題 (1) 部会構成について 事務局案のとおり承認 (2) 計画素案の審議について 社会教育委員会議 第1部会 顛末 ■全体を通して ・町総合計画、教育推進計画のどの基本目標に基づいているのかわからない。	

- ・町は子育て支援に力を入れているので、関連付けて計画を立てるべき。
- ・会議の中で意見を出すために、資料は事前には送ってほしい。
- ・年齢の区分について、教育推進計画に従って記載すべきである。

■第1節 家庭教育

- ・ICTの啓発に関連する取組は必要である。
⇒啓発・連携・ネットワークに取り組みを記載する。

■第2節 少年教育

- ・稲城市交流事業について、東藻琴地区を巻き込んで町全体としてできないか？
⇒女満別小学校から東藻琴小学校には、17年前頃？から合同で実施できないか打診しているが、東藻琴小PTAができない意向を示している。東藻琴小から稲城市交流事業をうらやましく思うような意見が出れば東藻琴小PTAは立ち上がるべきであるが、現状はそのような意見はないので良いのではないだろうか。もしくは教育委員会が東藻琴小PTAをバックアップして参加させる形も考えていく必要があるのではないだろうか。
- ・ジュニアリーダー研修について、地域に還元できていない現状がある。
- ・次年度から始まるCS（コミュニティスクール）に関わるべきである。地域・保護者・学校それらを繋ぐネットワーク作りが必要である。

■第3節 青年教育

- ・成人年齢引き下げに伴い、成人式の対象年齢を18

歳とした場合、卒業式への影響など学校としての意見はいかがか。

⇒本来町が意向を示すことなので、学校は議論していない。

・高校生に特化した事業がない。地元に残るか、町外に出るか進路を考える時期だが、地元に残る意識がないように思われる。地元の魅力を伝える事業はできないか。

・青年の交流について、青年団とJA青年部の連携はできないか？

⇒できないことはないが課題として、JA青年部は網走と東藻琴に分かれているため、取りまとめ等の連絡関係の整備が必要である。

・のんきークラブ（東藻琴農業青年部？）と連携はできないか検討。

■第4節 成人教育

・人材バンクについて、講師の個人名の登録ではなく、カリキュラム名として登録し、ニーズに合った人材を提供すると、利用者側も利用しやすくなる。また、名称を「カリキュラムバンク」に変更した方が良い。

・団体支援について、少子高齢化・人口が減少していく中で自治会として機能しない地区がでてきている。そのような自治会をバックアップするような支援が今後必要となるかもしれない。

■第5節 高齢者教育

・ことぶき大学の課題として、幅広く実施しているため、学びたいことが学べないことがある。ニーズに合わない。学生が減っている。

・健康年齢を引き上げる取組を行ってほしい。

- ・孫世代に繋がる取組を行ってほしい。
⇒現状、もちつきや伝承遊びなど幼稚園・小学生と関わる事業を実施している。他にも仕組み作りがでないか検討する。

■第7節 読書活動

- ・図書館司書を多く配置してくれて良い。
- ・他の町の子どもと比較すると本を読む数が少ない。

第2部会

芸術文化・文化財保護・スポーツ活動・基盤整備

■第6節 芸術・文化活動

- ・駒踊りや湖響太鼓などを、長く伝統芸能として活動するために、加入者の拡大をどのようにしていくか。現在、イベント出演や太鼓体験など様々な取組を行っているが、参加者を増やす新しいアイデアも必要になってくる。（豊島氏）
- ・「【課題】新たな文化団体創設への取組が必要」とあるが、既存の団体で何が問題なのかを精査する必要がある。（本間氏）
- ・大空町でどのようなサークルが活動しているのかわからない。美幌町では、サークル名や加入方法が書かれた冊子がある。（本間氏）
- ・中期計画アンケートで、町民の芸術文化志向が高いことを示していたので、総合型芸術文化倶楽部事業の人気は高まっていくと思う。しかし、講座自体に発展性・継続性が無いため、サークルとして活動したいと

思ってもできない。（本間氏）

・青少年文化劇場は大変好評である。今後も、子ども達が好む芸術性の高い劇場を提供していただければと思います。（長谷川氏）

・啓発、連携、ネットワークについて、社会教育委員との結びつきを強くしていかななくてはならない。もっと、社会教育委員をいい意味で利用して欲しい。（豊島氏）

→第6節に限らず全節で該当する内容であるため、第1部会とも共有する必要がある。（事務局）

■第8節 文化財保護活動

・大空町にある自然の中でも、町民でも知らない自然が数多くあるので、周知に工夫をして欲しい。（野村氏）

・東藻琴小の3年生が毎年、総合的な学習の時間で町の資料館を訪れているが、トイレが無いので設置をお願いしたい。（野村氏）

・駅前に農協の石倉庫があるが、今後別の場所に移り空いてしまうため、そこを資料館として活用するのはどうだろうか。小樽市や室蘭市では民間の力を借りながら実施している。（豊島氏）

・現状についての文章は、文化財と自然環境を段落で分けて表記するとわかりやすい。（本間氏）

→承知した。（事務局）

■第9節 スポーツ活動

- ・もこと山ふきおろしマラソン大会の参加者(小学生)が激減している。同時期に2つの大会に出場するのは難しいのではないか。
- ・令和3年から女満別高校校舎を修理し町に返還するため、活用していただきたい。(野村氏)
- ・単に施設を増やすのではなく、空いている(使っていない)スペースを有効活用すべき。(本間氏)
- ・B & G海洋センター改修とあるが、両地区での改修なのか。(本間氏)
→女満別地区のみである。(事務局)

■第10節 生涯学習の基盤整備と施設

- ・「【課題】各種施設の利用促進が必要」とあるが、利用者にそらっきーポイントを交付してみてもはどうだろうか。(豊島氏)
- ・計画として、将来的には「修繕」よりも「縮小」の方が良いのではないか。
- ・現状の文章の中で、旧豊住小学校が表記されていないがどうしてか。(本間氏)
→文章には公共財産である施設が表記されており、旧豊住小学校は普通財産のため表記していない。(事務局)